



# IXIL ユニットひさし スリムアートフラットタイプ (出隅・入隅) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付される方にお渡してください。

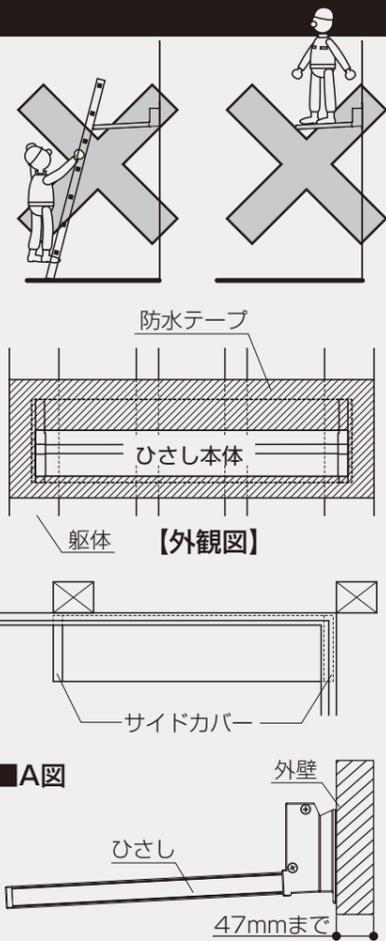
## ■取付される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

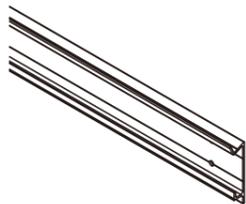
**▲注意** …取付けを誤った場合、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

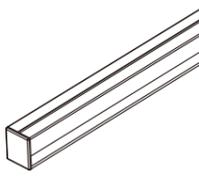
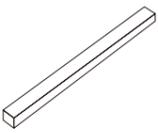
- 本製品の上に乗ったり、はしごを掛けたりしないでください。落下事故や商品の変形などの原因になるおそれがあります。
- コーチねじ・丸木ねじのひさし固定穴が、柱・間柱と合わない場合は、開け直してください。ひさしが落下するおそれがあります。
- 取付け強度不足になり落下事故のおそれがありますので下記事項をお守りください。
  - ・後付けの場合は壁厚(構造体からの厚み)が、47mmを超える場合は使用しないでください。(A図参照)
  - ・取付けアタッチメントはコーチねじで、柱・間柱に確実に固定してください。
- 漏水の原因になりますので下記事項をお守りください。
  - ・シーリング指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。
  - ・先付けの場合は、防水シートの上に取付けてください。
  - ・先付けの場合は、本製品取付け後、ひさしと躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
  - ・外壁材とひさしの取合い部分には、必ずコーキング材を充てんしてください。
  - ・コーキング材は必ず屋外用コーキング材を使用してください。
- 本製品を出窓の屋根としては使用しないでください。結露水などが躯体内部にまわることがあります。
- 本製品のサイドカバー部を外壁内に埋め込まないでください。サイドカバー部の水抜き穴から出た水が躯体内部にまわることがあります。



## ■ひさし

取付けアタッチメント	コーチねじ ・先付け: φ6×70 ・後付け: φ6×80	丸木ねじ φ3.8×32	トラス小ねじ M4×10
	 ※二面幅 10(mm)	[先付け] 	[後付け] 

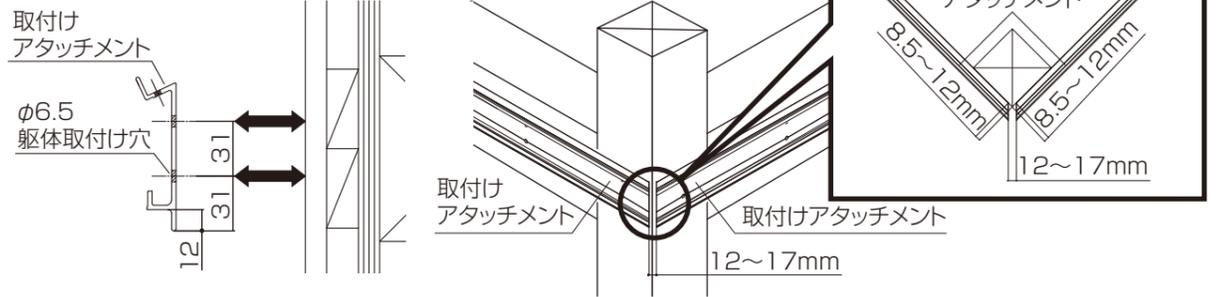
## ■連結部材

連結部材	サイドシーラー	バックアップ材	バックアップ材
		 (1個)	 (4本)

●本説明書では出隅用で説明していますが。入隅用も同じ要領で取付けてください。

### 1 取付けアタッチメントの位置決め

- 右図を参考に取付けアタッチメントの位置決めをし、躯体に墨出しをします。
- ※2つの取付けアタッチメントのすき間が12~17mmになるように位置を決めてください。



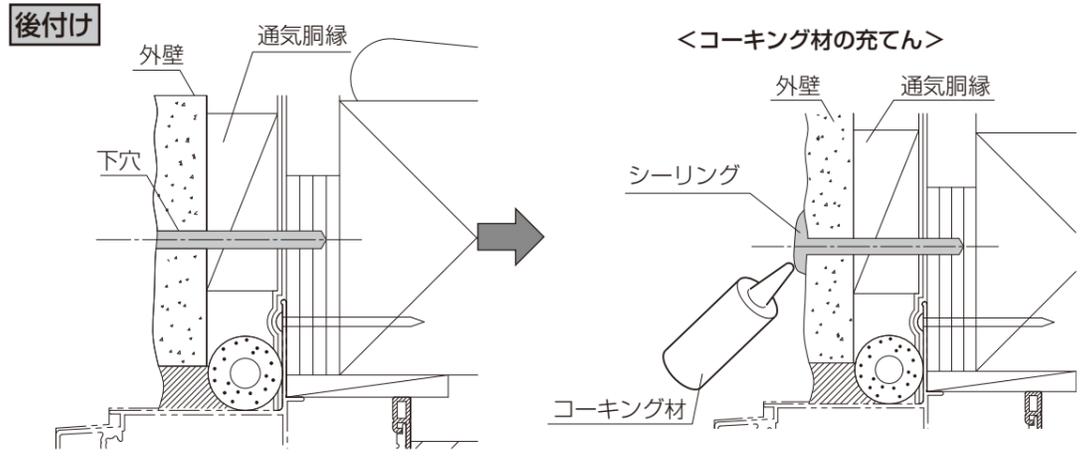
### 2 躯体（外壁）の穴加工

取付けアタッチメントの固定穴の位置に合わせて躯体（外壁）にφ4.5のドリルで下穴をあけます。

**注意**

●取付けアタッチメントはコーチねじで、柱・間柱に確実に固定してください。ひさしが落下するおそれがあります。

後付けの場合は右図のように下穴にコーキング材を充てんしてください。コーキング材は、穴の縁にも外壁のくぼみより厚く盛り上げてください。

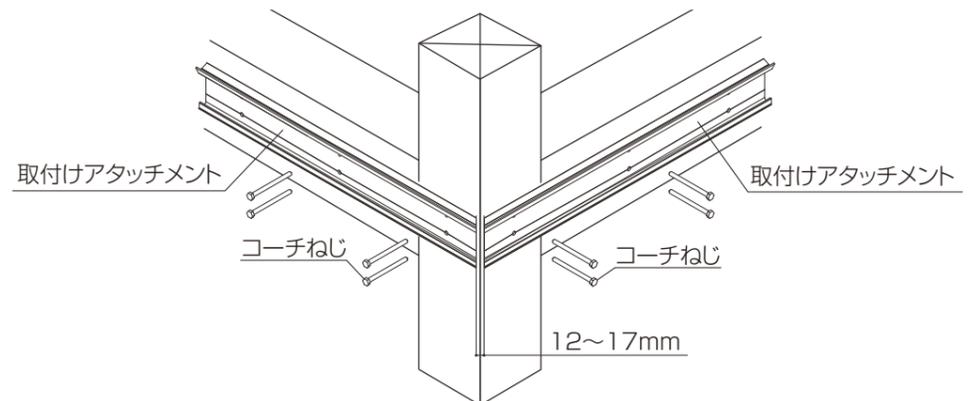


**注意**

●指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になることがあります。

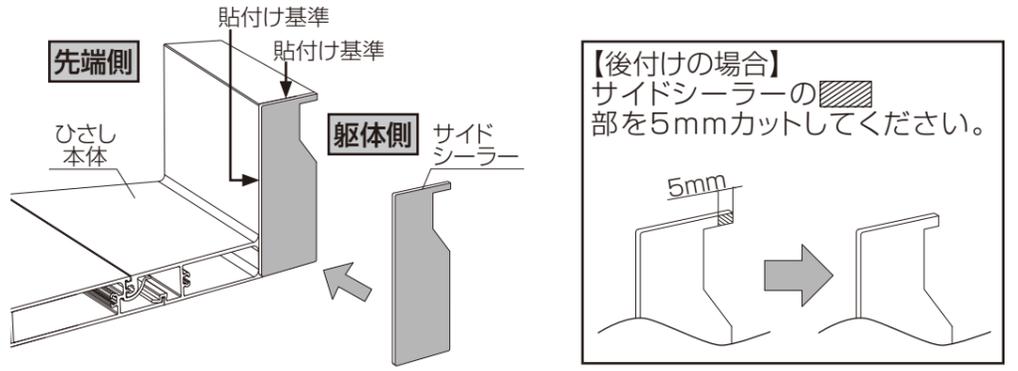
### 3 取付けアタッチメントの固定

コーチねじで取付けアタッチメントを躯体に取付けます。

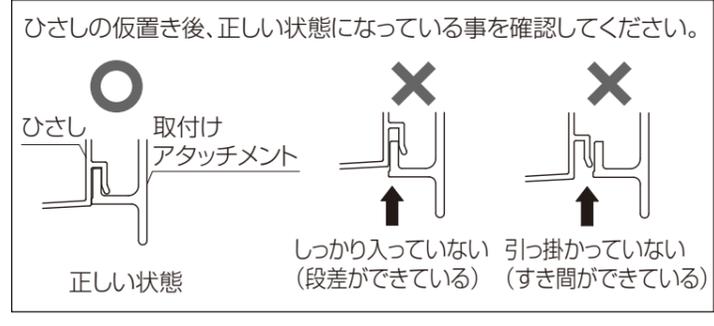
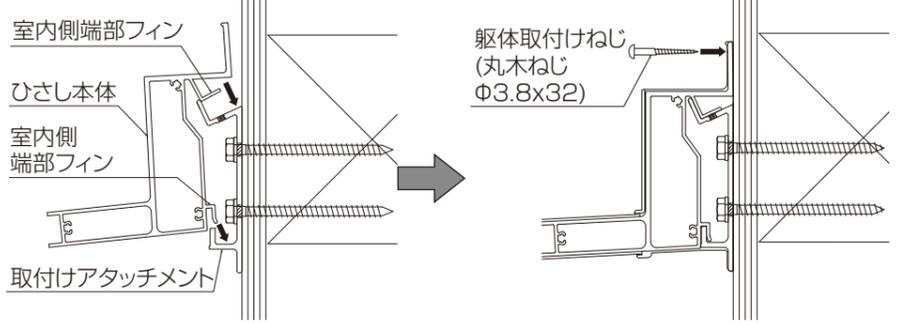


### 4 ひさし本体の取付け

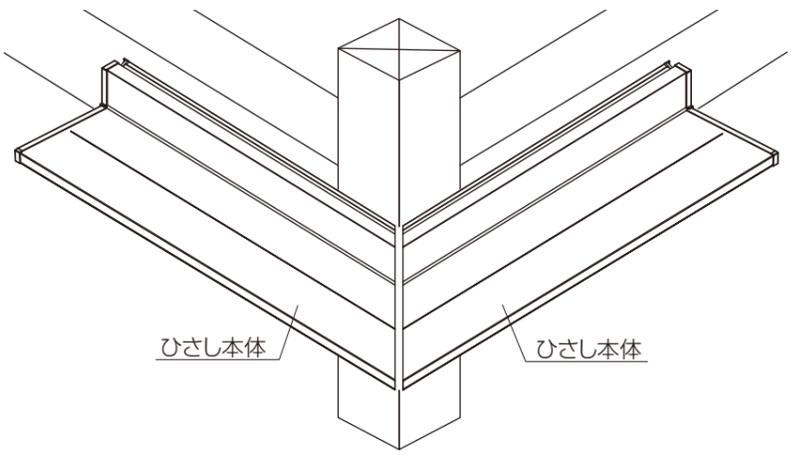
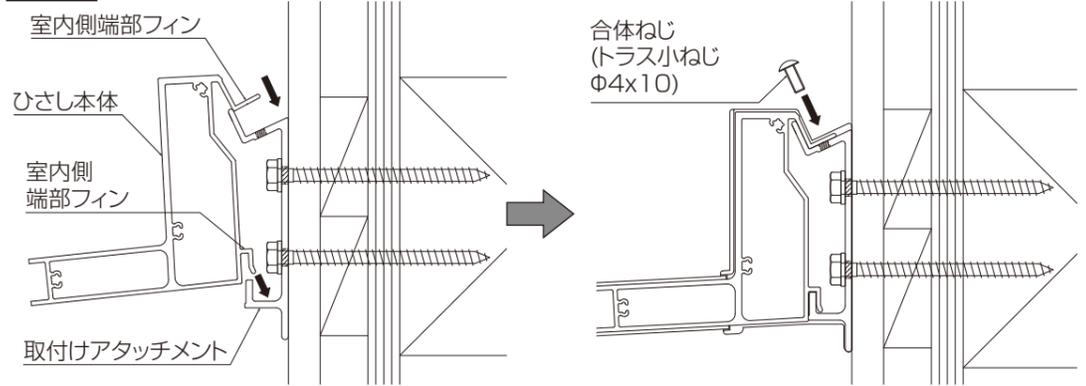
- ①ひさしの躯体側のホロー部にサイドシーラーを貼付けてください。（右図参照）
- ②ひさしを仮置きする  
下図に示すように、室内側端部フィンを取付けアタッチメントに引っ掛けて仮置きします。  
左右のひさしを仮置きした後、2つのひさしを隅方向に寄せてください。
- ③ひさしを固定します  
【先付けの場合】ひさしと躯体を丸木ねじで固定します。  
【後付けの場合】ひさしと取付けアタッチメントを合体ねじで固定します。



#### 先付け

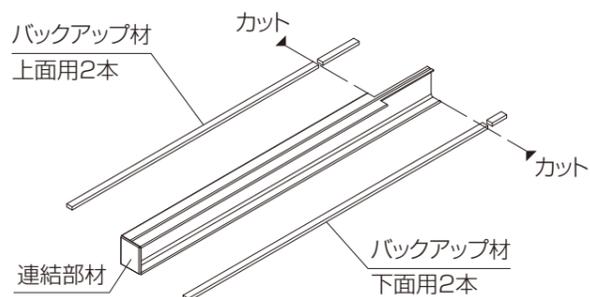


#### 後付け

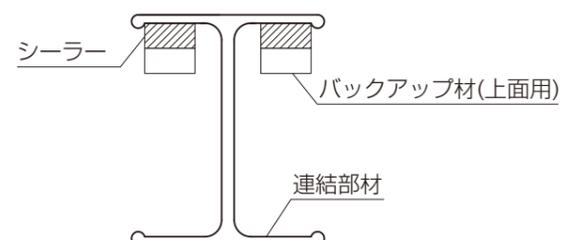


## 5 連結部材の取付け

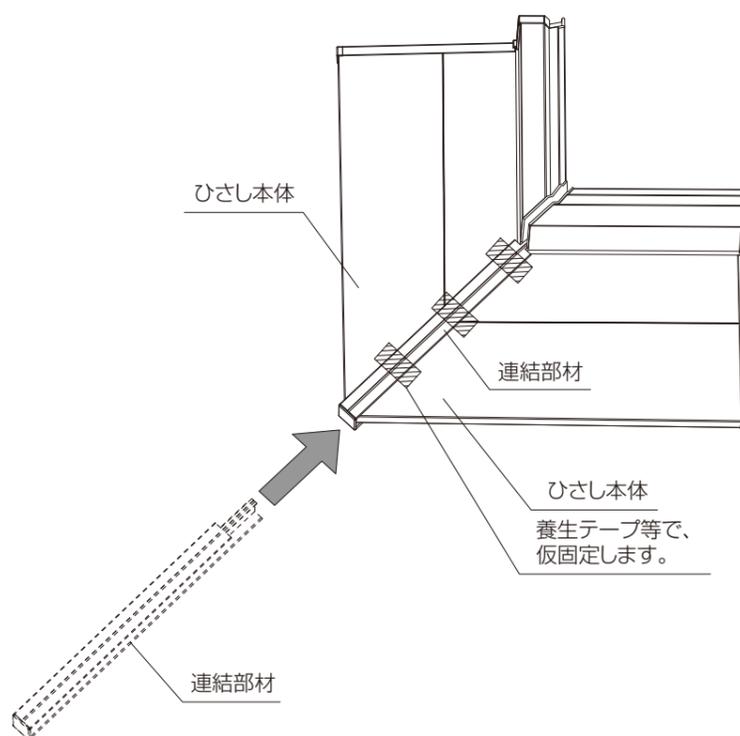
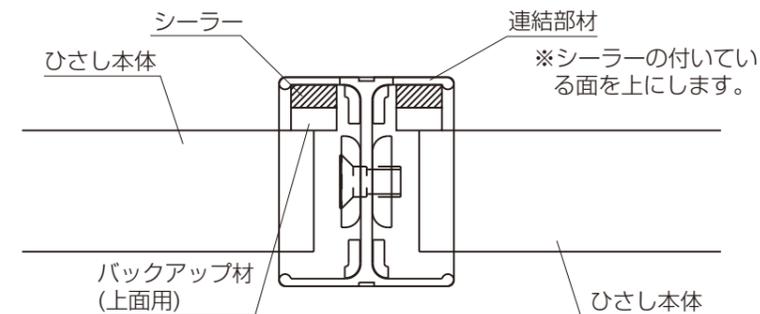
- ①ひさし本体の汚れ、ホコリを拭き取ります。
- ②下図を参考にバックアップ材をカットします。(上面用を2本、下面用を2本準備します。)



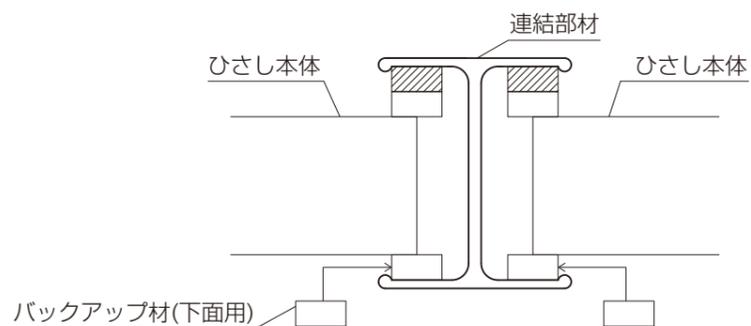
- ③上面用のバックアップ材のリケイ紙をはがし、連結部材のシーラーの上に張付けます。



- ④左右のひさし本体にバックアップ材がかかっている(のっている)ことを確認しながら、連結部材を右図の矢印の方向に差込みます。差込み後、ひさし本体と連結部材を養生テープ等(現場手配)で仮固定します。

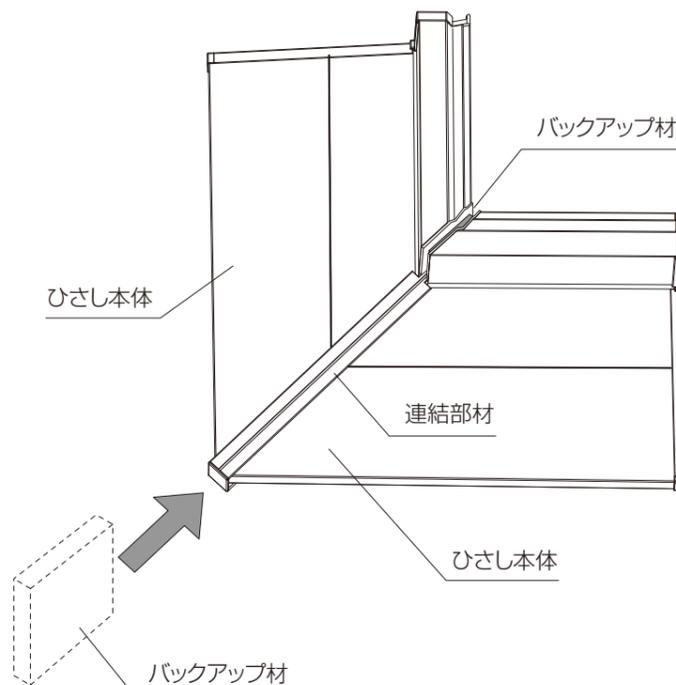
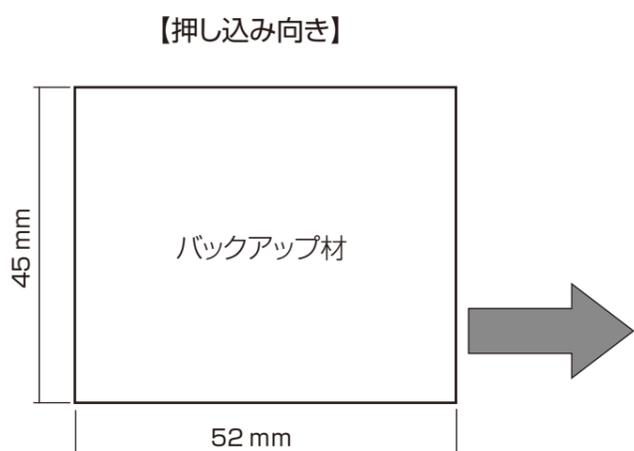


- ⑤ひさし本体と連結部材のすき間(下面側)にバックアップ材を差込みます。



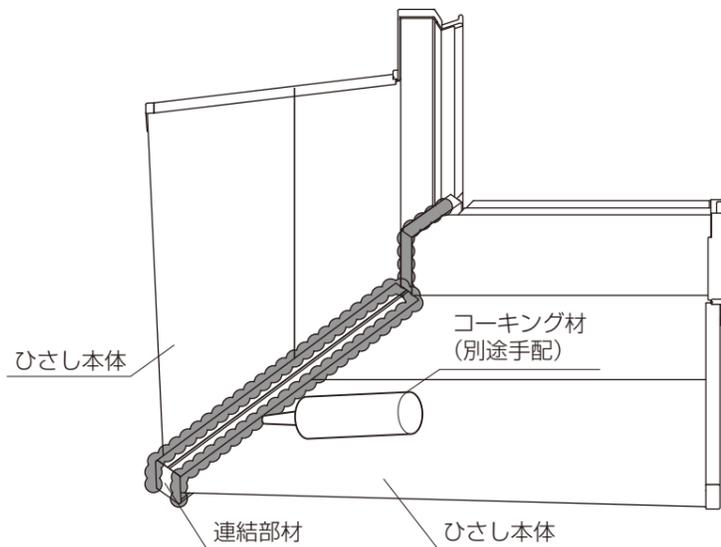
## 6 バックアップ材の差込み

2つのひさし本体の間にバックアップ材を差込みます。連結部材と躯体に接するように押し込んでください。



## 7 連結部のシーリング処理

- 連結部材の周囲に、コーキング材(別途手配)を充てんします。
- ※ 先付けの場合は、正面部、軒天部にもシーリング処理を行ってください。



### 【先付け】

正面部、軒天部にも、シーリング処理を行ってください。

正面部 軒天部

### 【後付け】

正面部、軒天部にも、シーリング処理を行ってください。

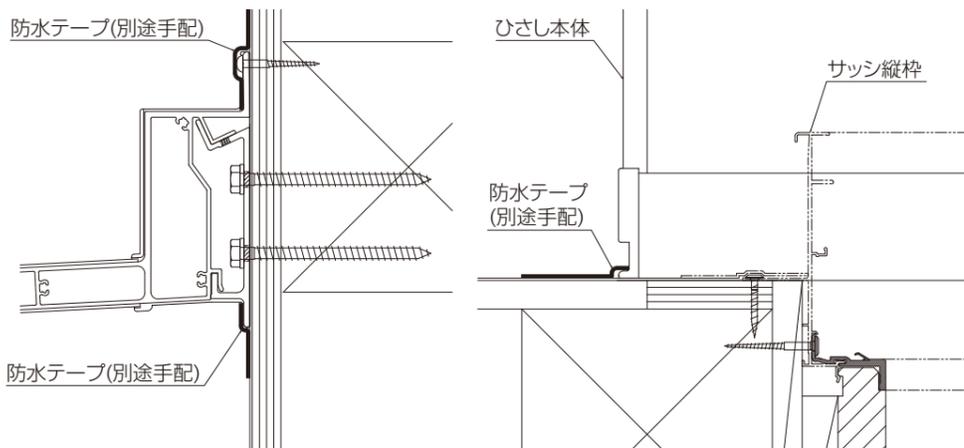
正面部 軒天部

### ▲ 注意

- 漏水の原因になることがありますので下記事項をお守りください
- ・ シーリング指定個所には必ずコーキング材を充てんしてください。
- ・ コーキング材は必ず屋外用コーキング材を使用してください。

## 8 防水テープの張付け (先付けの場合のみ)

ひさし取付け後、躯体との取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



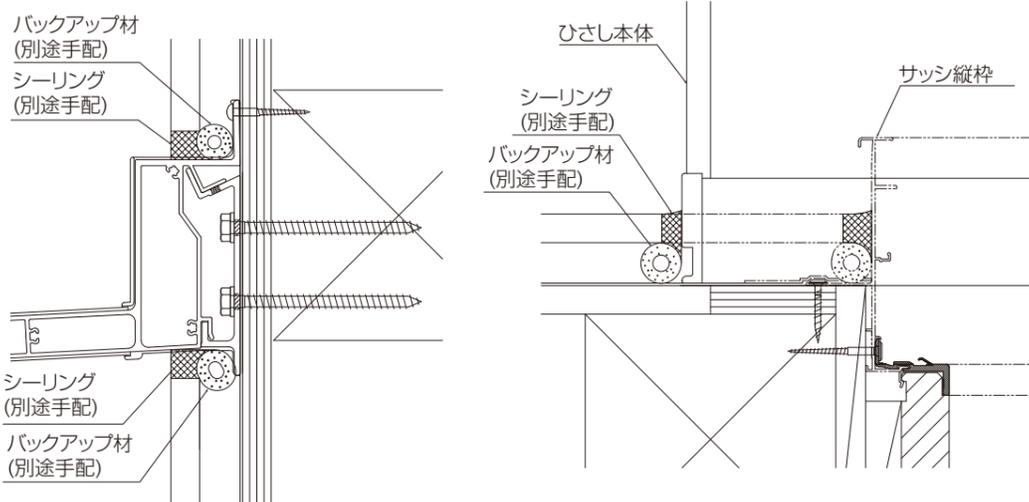
### ▲ 注意

- 漏水の原因になることがありますので下記事項をお守りください。
- ・ 防水シートの上に取付けてください。
- ・ 本製品取付け後、ひさしと躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

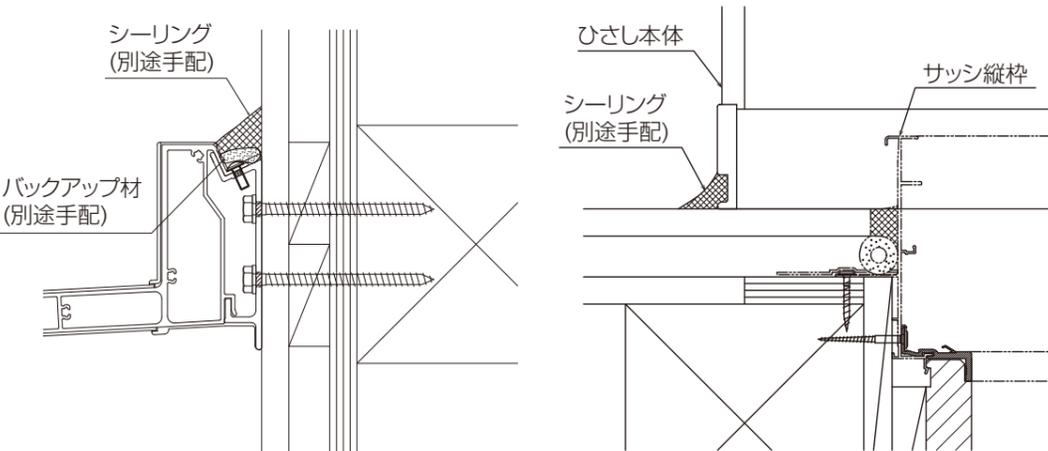
## 9 シーリング処理

外壁とひさしの取合わせ部に必ずコーキング材を充てんしてください。

### 【先付け】



### 【後付け】



### ▲ 注意

- 漏水の原因になることがありますので下記事項をお守りください。
- ・ 外壁材とひさしの取合い部分には、必ずコーキング材を充てんしてください。
- ・ コーキング材は必ず屋外用コーキング材を使用してください。